

乙 頁

第109号 通巻19巻第6号
2000年3月31日 発行

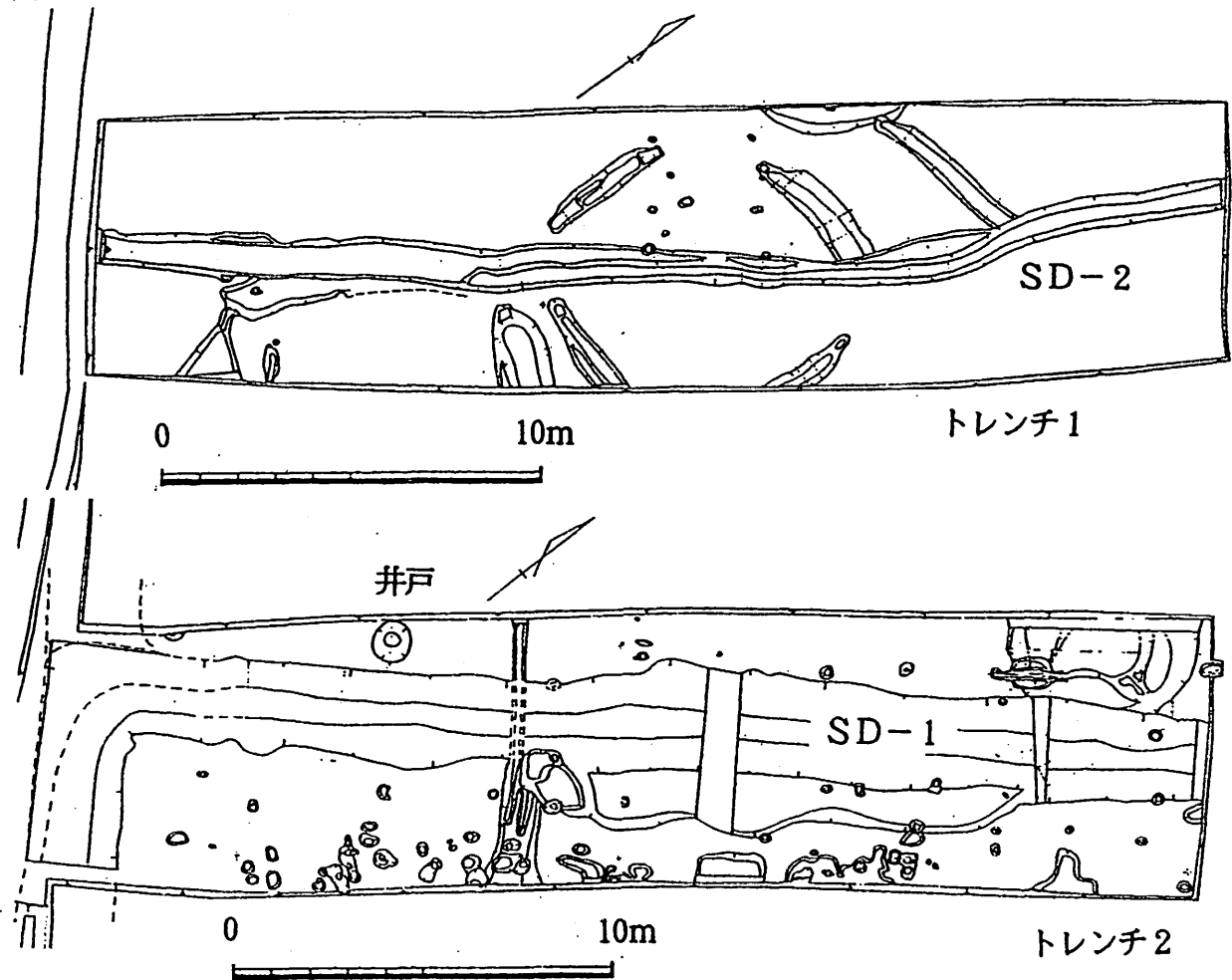
守山市立埋蔵文化財センター
電話・FAX 077-585-4397

〒524-0212
守山市服部町2250番地

八ノ坪遺跡の調査

平成11年11月下旬から平成12年1月中旬にかけて、宅地造成工事に先立ち、八ノ坪遺跡の調査を行いました。トレンチ1では、室町時代(14世紀代)の溝と方形周溝墓(時期不明)2基が見つっています。平成6年度、今回の調査地点から30m北東の地点で発掘調査を行っていますが、弥生時代中期の方形周溝墓が見つっています。今回検出された方形周溝墓も、弥生時代中期の可能性がります。

トレンチ2では15~16世紀頃の溝、柱穴、土壇などが見つっています。SD-1はトレンチの南西隅で直角に屈曲して、南東方向に伸びるかT字状に分かれているものと考えられます。溝の北東側では柱穴等が多数検出されていて、屋敷地の周りを区画する溝とみられます。今回の調査では、新たにこの周辺に中世の屋敷地が広がっていることがわかりました。(藤原)



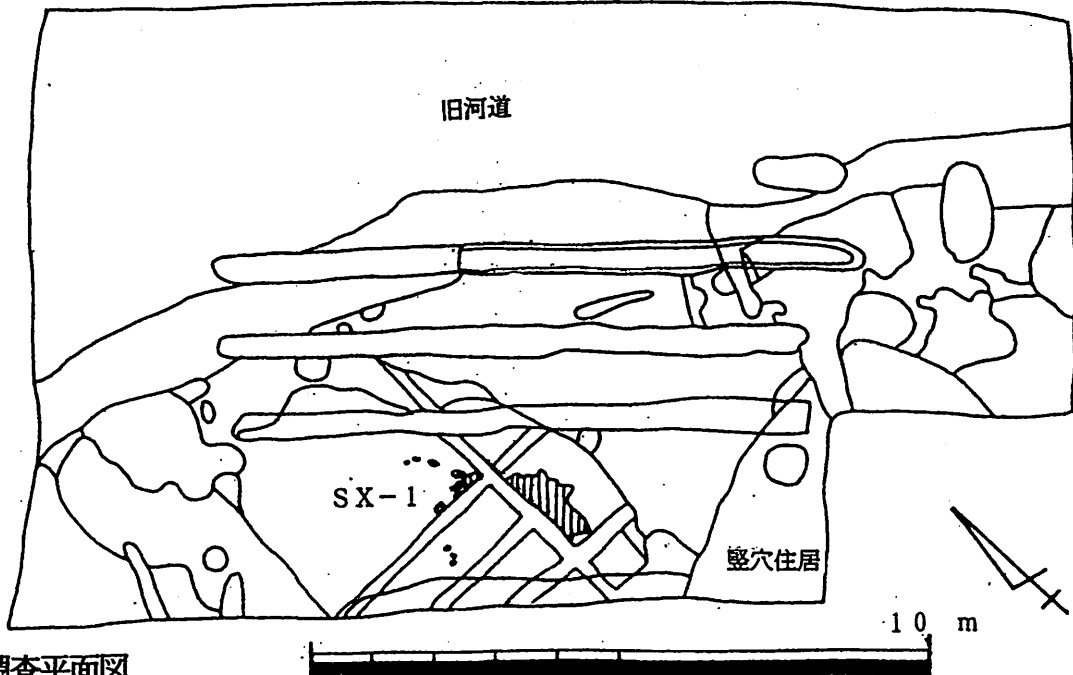
▲ 八ノ坪遺跡調査平面図

伊勢遺跡確認調査

平成12年2月から3月にかけて、伊勢遺跡の確認調査を実施しました。第1地点は日吉神社の東側約100mの地点で、第2地点は神社の東南側約100mにあたります。

第1地点では、東西方向に流れる旧河道を検出しました。その規模等は不明ですが、幅10m以上と推定されます。伊勢遺跡は東西方向に舌状^{ぜつじょう}に伸びる丘陵地にひろがる遺跡ですが、その南側には幅20mほどの旧河道が存在することがわかっていました。今回の調査では、遺跡の北側にも旧河道が存在することが判明しました。地形的にもこの旧河道から北側に向かって低くなっていて、伊勢遺跡の北側の境界となっている可能性があります。旧河道の南西側では、弥生時代後期の竪穴住居1棟や不定型の落ち込み（SX-1）、土壌等を検出しました。SX-1は6m×4m以上の落ち込みで、調査区の西側にむかって広がっています。その東側の肩口では、焼土の塊が2m四方に集中していることがわかりました。この遺構の性格については現在のところ不明ですが、強い火を受けた構築物がこの地点において廃棄されたものと考えられます。平成12年度の秋に周辺部の調査を行なう予定で、その性格等について明らかになればとおもいます。

第2地点は、大型建物が集中する中心部の北側で、伊勢遺跡でも最も高い地域にあたります。標高約99mを測り、遺構面には礫層^{りぼくそう}が広がっていました。その礫層の上面で遺構検出を行なった結果、竪穴住居7棟、柱穴、掘立柱建物等が見つかりました。竪穴住居は一辺5m前後の方形プランの中型の住居で、弥生時代後期と考えられます。柱穴は、灰褐色の中世のものと黒褐色の粘質土が堆積した弥生～古墳時代のものに分けられます。このほか、2間×3間（3.4m×4.5m）の総柱^{そうちゆう}の掘立柱建物が検出されました。この建物は、栗太郡地割りの方向に一致していて、奈良時代のものと推定されます。この地点でも遺構密度が高く、伊勢遺跡の中核部に近いと考えられます。（伴野）



▲ 第1地点調査平面図

下之郷遺跡は、平成10年度の道路工事に伴う発掘調査で重要な遺構や遺物がたくさん発見されて以降、環濠集落の全体範囲を把握するための確認調査を進めています。本年度は、特に集落をとりまく環濠の位置や広がりを探るために合計7ヵ所での平面検出調査と古い航空写真から一帯の微地形を復原する調査をおこないました。ここでは、その結果を少し紹介したいと思います。まず、確認調査ですが、第1地点では集落の南西側で調査をし、5条の大溝を発見するとともに、一部を掘り上げてみたところ、そこには大量の弥生土器や木製品が埋もれていることがわかりました。第2地点では集落の東側で4条の大溝、第3、第4地点では集落の北東側で2条の大溝が、そして第5、第7地点では集落東側で2条以上の大溝の位置がおさえられました。また第6次の調査では、環濠のすぐ内側の場所で円形の竪穴住居らしきもの（掘り込みをしていないので詳しいことは不明です）が検出されました。この発見は、弥生時代中期の下之郷遺跡には竪穴住居がなかったのではないかという、これまでの議論に一石を投じる可能性があります。以上の確認調査とこれまでの発掘結果でわかっている環濠の位置を考え合わせると、若干の修正は必要ですが、当初に予想していた周囲範囲にほぼ合致する



地点で環濠が発見されたこととなります。つぎに、古い航空写真から周辺の微地形を復原する調査では、まず古い航空写真（1/10000の垂直写真・今回は昭和36年撮影分）を探して当時の標高点をコンピューターで解析する作業をしました。そして、求められたデータを10mメッシュで地図上に配列しハンドメイドの等高線図を作成しました。最後に写真と比較しながら unnecessary データを削除したり、補正を加えたりして昭和36年当時の地形面復原図をつくり遺跡全体図と重ねてみました。

▲ 下之郷遺跡地形復元図

○番号は今年の調査次数です

その図が上のものです。この図を観察して言えることは、一つは、遺跡周辺のこまかな地形の起伏が浮かび上がり、埋没している谷や旧河道、中洲状の高まりなどが確認されたこと。二つには、弥生時代の環濠の位置と復原された等高線の相関関係が部分的にはあるが指摘できたこと。三つには、集落内部に現在の地割りと異なる地割り（南北）が認められたことで、実際にこの場所に弥生集落の区画溝などが埋もれているならば極めて重要なこととなります。四つには、今年の確認調査で検出された環濠よりさらに外側にも数本の大溝の存在が指摘できること。以上、作成した地図から思いついたことを記しましたが、出てきた問題はあくまで発掘をしていない段階で言えること（予察）ですので、今後確認調査を進めていくなかで地図の情報が現地でも検証されていくこととなります。過去に撮られた写真も遺跡の発掘調査や範囲確認にとっては、たいへん有効な手段のように思います。 (川 畑)

平成 1 1 年度発掘調査一覽表

番号	遺跡名	調査地	調査期間	調査面積/開発面積	調査原因	担当	備考	乙貞掲載号
1	下之郷遺跡(33次)	下之郷町640-37番地	4/22~6/10	850㎡	共同住宅	川畑	平面調査	105号
2	下之郷遺跡(34次)	下之郷町204-1番地	8/4~9/4	400㎡	重要遺跡確認調査	川畑	平面調査	106号
3	下之郷遺跡(35次)	下之郷町217・218-3番地	10/4~10/8	500㎡	駐車場	川畑	平面調査	
4	下之郷遺跡(36次)	下之郷町218-1・2番地	11/24~11/30	250㎡	店舗建築	川畑	平面調査	
5	下之郷遺跡(37次)	下之郷町202-1番地	12/8~1/8	500㎡	重要遺跡確認調査	川畑	平面調査	
6	下之郷遺跡(38次)	下之郷町676-1番地	12/20~12/28	477㎡	個人住宅	川畑	平面調査	
7	下之郷遺跡(39次)	下之郷町705-1番地	1/31~2/29	400㎡	重要遺跡確認調査	川畑	平面調査	
8	伊勢遺跡(55次)	阿村町字上番田143-1番地	5/10~8/25	2,000/3,288.99㎡	工場	小島	発掘調査	108号
9	伊勢遺跡(56次)	伊勢町78番地	5/10~7/8	800㎡	重要遺跡確認調査	伴野	平面調査	105号
10	伊勢遺跡(57次)	伊勢町254番地	5/13~5/17	200㎡	共同住宅	藤原	平面調査	
11	伊勢遺跡(58次)	阿村町155番地	8/10~9/8	400㎡	重要遺跡確認調査	伴野	平面調査	106号
12	伊勢遺跡(59次)	阿村町183番地	9/16~9/30	200㎡	重要遺跡確認調査	伴野	平面調査	
13	伊勢遺跡(60次)	阿村町155・158-1番地	9/27~12/14	700㎡	重要遺跡確認調査	伴野	平面調査	107号
14	伊勢遺跡(61次)	阿村町158-1番地	1/4~1/18	100㎡	里道	伴野	平面調査	
15	伊勢遺跡(62次)	伊勢町58番地	2/1~3/21	400㎡	重要遺跡確認調査	伴野	平面調査	109号
16	伊勢遺跡(63次)	伊勢町62番地	2/21~3/21	500㎡	重要遺跡確認調査	伴野	平面調査	109号
17	播磨田城遺跡(1次)	播磨田町字下広畑531番地他	4/19~12/28	5,100/8,100㎡	宅地造成	畑本	発掘調査	104~108
18	二町鎮遺跡	二町町字堂ノ内215-3番地	4/27~5/6	250.54/989.68㎡	共同住宅	大岡	発掘調査	105号
19	山田町遺跡(2次)	勝部町字北中水1161-1番地	8/24~8/4	400㎡	共同住宅	藤原	発掘調査	106号
20	高岡遺跡	二町町字北上代5番地	7/5~8/20	809.33/809.83㎡	共同住宅	大岡	発掘調査	106号
11	浮気南遺跡	浮気町228-1番地	8/5	311.11㎡	農用倉庫	伴野	試掘調査	
22	阿比留遺跡	小島町字三ノ坪1612-7番地	10/25	175.95㎡	個人住宅	伴野	試掘調査	
23	二ノ畦・横枕遺跡	守山六丁目9-3番地	11/8	143㎡	個人住宅	伴野	試掘調査	
24	八ノ坪遺跡	播磨田町字寺ノ内766-1他	11/22~1/14	500/7,939㎡	宅地造成	藤原	発掘調査	109号
25	横江遺跡	大林町字休見382-73番地	12/9	203.83㎡	個人住宅	小島	試掘調査	
26	金森東遺跡(14次)	守山三丁目字大將軍446・446-1	11/11~12/17	440/674㎡	宅地造成	岩崎	発掘調査	108号
27	金森東遺跡(15次)	守山三丁目土地区画整理内7-4-2	12/3~12/13	127㎡	個人住宅	大岡	発掘調査	108号
28	金森東遺跡(16次)	守山三丁目土地区画整理内3-3-1	12/14~12/16	135/156.5㎡	個人住宅	小島	発掘調査	108号
29	金森東遺跡(17次)	守山三丁目土地区画整理内7-4-2	12/3~12/13	135/156.5㎡	個人住宅	小島	発掘調査	108号
30	金森東遺跡(18次)	守山三丁目土地区画整理内2-2	12/17	202.0㎡	個人住宅	伴野	発掘調査	108号
31	金森東遺跡(19次)	守山三丁目土地区画整理内10-38	1/6~1/7	760㎡	個人住宅	伴野	発掘調査	
32	金森東遺跡(20次)	守山三丁目土地区画整理内429-2	1/7~1/12	403.0㎡	個人住宅	伴野	平面調査	
33	金森東遺跡(21次)	守山三丁目土地区画整理内455他	2/10~2/17	141.0㎡	個人住宅	畑本	発掘調査	
34	二ノ畦・横枕遺跡	守山六丁目7-61番地	1/4~1/5	196.61㎡	個人住宅	伴野	発掘調査	
35	吉身北遺跡(20次)	梅田町40番地9-10番地	1/31	289.08㎡	個人住宅	伴野	試掘調査	
36	二ノ畦・横枕遺跡	守山六丁目字南百ヶ町44-4番地	2/15~2/17	192.00㎡	個人住宅	小島	発掘調査	
37	二ノ畦・横枕遺跡	吉身三丁目字森尻528-5番地	3/10	216.36㎡	個人住宅	伴野	発掘調査	
38	寺中遺跡	矢島町字東坊3431-2番地	3/15	498.24㎡	農用倉庫	小島	試掘調査	
39	赤野井遺跡	赤野井町390-3番地	2/28	488.66㎡	個人住宅	伴野	試掘調査	

平成10年度から建築確認業務が守山市で実施されるようになり、上記の調査以外に住宅建築や擁壁工事に伴う立会調査を約70件行なっています。また、下水道工事に伴う立会(約5件)や開発に伴う試掘調査(約15件)を実施しました。